

広島市植物公園 見どころ案内

ユキワリイチゲ

(キンポウゲ科)

小さく可憐な花を咲かせますが、明るくないと開花しないため、晴れた日のお昼ごろでないと花を見ることができません。

2021年3月13日
通巻第495号

展示会のご案内

- ◇展示資料館 (3/6~4/1)
「草木染の世界」展
- ◇展示温室 (3/6~4/18)
ゼラニウム展

ハナモモ‘関白’ (バラ科)

ハナモモの白花では代表的な品種で寒白桃とも呼ばれます。純白で八重咲きの花が咲き乱れている様子は圧巻です。

変わり葉ゼラニウム

(フウソウ科)

日本植物園協会のナショナルコレクションに認定された変わり葉ゼラニウム品種群を展示しています。展示温室ではゼラニウム展約250鉢をご覧いただけます。

ハナナ

(アブラナ科)

「菜の花」の名で知られる、早春の定番の一年草です。小規模ながら群植された菜の花畑をご覧ください。

エウロフィエラ

ロエンプレリアナ (ラン科)

マダガスカル原産の大型の着生ランでタコノキ属の植物にしか着生しない変わったランです。国内では栽培・展示される例が少なく、別名は「マダガスカルの女王」

アモルフォファルス・ギガス

のつぼみ (サトイモ科)

インドネシアのスマトラ島原産のコンニャクの仲間で、世界一背が高い花を咲かせます。2mを超えてもまだ成長中で今月中の深夜に開花すると思われます。

ハルサザンカ‘笑顔’

(ツバキ科)

ハルサザンカはサザンカとツバキの雑種に由来する園芸品種の総称で、‘笑顔’は、濃桃色、八重の大輪品種です。

ギンヨウアカシア

スモモ‘ハリウッド’

(バラ科)

果樹としては主に受粉樹用として利用されていますが、花が多く葉が赤く美しいため、観賞用としても植えられています。

ゲンカイツツジ (ツツジ科)

ツツジの中でも特に早咲きの種類で早春に開花します。葉が展開する前に桃紫色の花を咲かせるためよく目立ちます。並んで白花も咲いています。

アカバナミツマタ

(ジンチョウゲ科)

名前のとおり、枝が必ず三つに分かれ(三叉)赤い花を咲かせることから名付けられました。隣にはミツマタもあります。

ケイオウザクラ

ハクモクレン (モクレン科)

空に向かって白く美しい花を咲かせています。モクレンの園芸品種も次々に開花しています。

サクラ各種 (バラ科)

越の彼岸桜、乙女東彼岸、マメザクラなどが見頃を迎えています。

